

Dr's VOICE

藍の都脳神経外科病院様

「脳卒中急性期治療」の専門病院として、 救急医療への貢献を。

私たち「藍の都脳神経外科病院」は、平成 23 年 7 月に「脳卒中急性期治療」の専門病院として、大阪市内に開院いたしました。脳卒中には、急性期・回復期・維持期という治療段階がありますが、現在、民間・中小病院では、全国的に急性期への対応力が非常に低いという状況があります。脳卒中の救急治療を考えた場合、生活者の 30 分～1 時間の場所に対応できる病院がなければ危険な状況を招いてしまうと、厚生労働省の最重要項目にもなっている課題なのです。そんな中、私たちは、脳卒中・脳疾患の救急医療への貢献を目指し、大阪の東領域である、鶴見区、城東区、生野区、旭区、東成区および東大阪市などの地域住民のみならずの安心な毎日をお守りしていきたいと、高度脳外科医療体制の実現に全力を尽くしました。



住所	大阪府大阪市鶴見区放出東 2-21-16
開院年月	2011 年 7 月
ベッド数	80
導入装置	Bright Speed Elite SD (GE) Achieva 3.0T X-series (フィリップス)

親身な資金計画サポートにより、 高度医療機器の導入が実現しました。

もちろん、脳外科の高度医療機器の十分な設置は、容易なことではありませんでした。迅速かつ確かな脳卒中の治療には、最高の情報量をもつ最新の「MRI 3.0 テスラ」、近年盛んに注目されている脳血管内手術を積極的に行うための「バイプレーンフラットパネル（血管像映機）」をはじめ、大変に高価な医療設備が必要です。全体予算の 60% をも占めてしまうこれらの大型最新機器は、開業時の資金ではなかなか導入することができないのが現状でしょう。しかし、脳疾患に専門特化した医療体制サポートで業界でも信頼の高いメディカ・ラインの手厚いご支援とアドバイスのおかげで、当院ではすべて理想にかなう設備機器を導入することができました。機器の運営やアフターフォローまで頼れるサービス体制も心強く、安心して私たちの「脳卒中急性期治療」をスタートすることができました。

